

地元出身者による地域内起業のプロセスに関する研究

— 高校時代の地域での探究活動を起点としたモデル構築 —

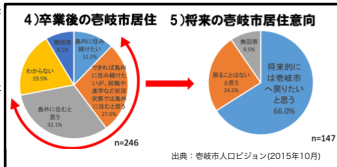
森下 祐樹（玉村雅敏研究室）

1. 研究背景

- 日本の地域は、若年層を中心に都市部への人口流出が続き、人口減少、人材・後継者不足、地場産業の衰退など複数の課題に直面している。研究対象地域の香岐市は離島環境であり、高校卒業後は島内就職(約5%)を除いては、進学・就職も含め島外へ転出する実態がある。近年、高校、中学の段階から福岡市や島外の学校に進学するケースも見られ、転出する時期も早期化している。
- 島外居住予定者の66%が「将来的には香岐市へ戻りたいと思う」ことが最も大きな不安要素となっている。現状では島外転出後の全体的な動向は香岐市としても追跡できておらず、地元出身者との関係性を構築するプラットフォームが存在していない。

高校名	2021年3月卒業生数	島内残留人数(割合)
香岐高校	154	2(1%)
香岐商業高校	64	10(16%)

表：学校別進路選択状況（各高校の公表情報より筆者作成）



▶島内居住中に地域で働く姿がイメージでき、島外転出後も地元との関係を維持することができる仕組みが必要とされている

2. 研究概要

<支援策を講じる対象>

- ①「香岐市へ戻りたい」と回答しているものの、実現できていない人たち
- ②「戻ることはないと思う」と回答しているものの、可能性がある人たち
- ※「③香岐市へ戻りたいと回答し、実現済・実現イメージあり」「④戻ることはないと思うと回答し、理由が島外でやりたいことが明確にある」は対象外とする

<①②の対象が抱える課題>

- A. 島内には希望する仕事がない（と思っている）
- B. 島内で自ら仕事を創るのは無理だと思っている

<課題解決案>

- A. 島内にある仕事の見方を変える機会を作り、実現に向けて支援する
- B. 島内で自ら仕事を創るイメージが掴める機会を作り、実現に向けて支援する

▶Bに関連する「地元出身者による地域内起業のプロセス」を主な研究テーマとする（Aに対しても支援策を講じることは検討）

3. 先行研究レビュー

- 進学校間を比較すると、A校において、「戻りたい希望が少しある、あまり戻りたいとは思わない」生徒が有意に多い。B校においては、「戻りたい希望が強くある」生徒が有意に多くなっている。このことから進学校では、Uターンを含めた地域志向度と学力に負の相関がありそうである。（北山、2021）
- 例えば、庄内以外での居住経験がある母親や、学歴の高い母親は、子どもへの残留希望割合が低い。そうした母親にとって、子どもの将来の活躍の場として庄内地域は積極的に期待を抱けない何らかの理由があると考えられる。（山口、2017）

▶本人、親ともに「進学校に通う」ことと「地元に戻る」「地元に残留する」ことに負の相関が見られる結果が出ている。

4. 研究方法

リサーチクエスション：

地元での地域内起業を実現するまでのプロセスはどのようになっているのか？

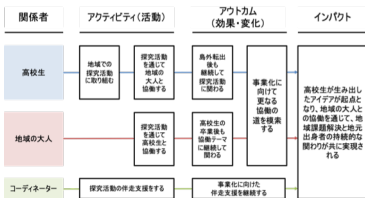
仮説：

島内居住時に、実際に地域内起業を実現した大人による影響を受けている

- プレ調査として想定していた3つの対象のうち、A：地元での地域内起業をした大人に対して、半構造化インタビューによる質的調査を行い、結果をM-GTA分析を行い、モデル構築を行う。
- 分析結果を元に、必要とされる支援策に対する仮説を導出する。導出された仮説を元に、実際に支援策を講じ、結果を検証する。

5. 期待される成果（ロジックモデル）

- 香岐では高校生が地域課題の解決につながるアイデアを生み出し続けている
- 生み出されたアイデアに、地域の大人がサポート・拡大に取り組んでいる
- 島外に出て、自分が生み出したアイデアが育まれ続けている
- 育まれたアイデアに、生み出した本人も関わり続けている
- 大学生→社会人となっても、アイデアに対して複層的に関わるケースが増えている
- 香岐を拠点にし、より地域への関わり度合いが高まっている



地域での教育を受けた地元出身者の自己実現という個益と同時に、その役割を担った地域の公益にも資するモデル開発を目指す

活動内容：

- ・高校生の島内在学中の地域での体験
- ・島外転出後の地元との継続した関係づくり

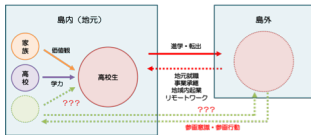


表4 学力と地域志向度へのクロス集計表

(単位：人)		地域志向度				
		地域志向度が高い	地域志向度が低い	地域志向度が高い	地域志向度が低い	地域志向度が高い
学	A校	**▽ 9	17	**▲ 33	**▲ 102	32
	B校	**▽ 11	**▲ 18	47	43	25
	C校	**▲ 56	7	*▽ 30	**▽ 22	22
	D校	**▲ 44	**▽ 2	*▽ 33	**▽ 24	18

(*) p<0.05, ** p<0.01, *** p<0.001, ▲ 有意に多い, ▼ 有意に少ない, * サンプル数40未満, 信頼区間50%以上

出典：北山 大地、地方都市における高校生と地域への関係：Uターン意識、学力の関与、地域内での起業活動に関する調査報告書（2021）